



デデポッポ

Vol. 4

京都市動物園
野生鳥獣救護センター通信
平成20年11月5日発行

みなさん、こんにちは。

救護センターにはいろいろな原因で運ばれてくる動物たちがいます。

今回はその中の一例を紹介しします。

このドバトは、羽が切られて飛べずにいた所を救護されました。羽は新しくはえてきますが、また空を飛べるようになるまでとても長い時間がかかります。



救護された直後です。尾羽と翼

の羽が切られていました。



新しい羽が生えて、自然に帰ることができました。

約一年後、やっと…

なぜ、羽を切られないといけないのでしょうか。

私たちスタッフは悲しく思います。

この例のように、人が関係して傷つく鳥や動物たちが

実は結構多いのです。

それは、私たちのちょっとした注意で防ぐことができるのです。